

京都観世会四月例会

平成31年4月28日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)



主催 公益社団法人 京都観世会

歌占 〈能〉

分林道治

茶壺 〈狂言〉

小笠原 匡

熊野 〈能〉

観世鍔之丞 誑次之伝
村雨留
墨次之伝

船橋 〈能〉

橋本光史

会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44
(東山仁王門東入)

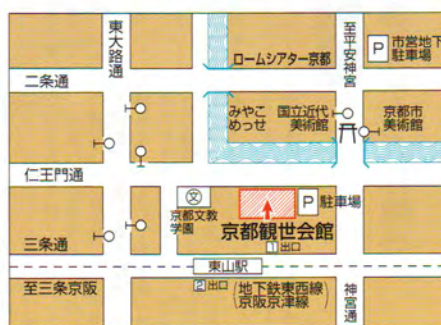
お問合せ・お申込み ☎ 075-771-6114

WEBサイトの公演情報からご予約ができます
<http://www.kyoto-kanze.jp>

チケットぴあでのご購入ができます
Pコード: 490-629

前売券 (1階当日指定席) 6,000円
当日券 (1階当日指定席) 6,500円
学生券 (2階自由席) 3,000円

京都観世会館案内図



- ◆京都観世会館へは
J R京都駅から — 市バス[5] [100]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 (乗車時間約30分)
地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」で東西線乗り換え「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
- 阪急河原町駅から — 市バス[31] [46] [201] [202] [203] [206]で「東山仁王門」下車 (乗車時間約15分)
- 京阪三条駅から — 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 (乗車時間約7分)
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
- J R二条駅から — 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
- 山科・醍醐方面から — 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9~17分)
- 地下鉄東西線「東山駅」から — 徒歩約5分
- ◆東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

京都観世会四月例会

幸菊丸浦部春仁

男 河村和貴
漫会何某 分林道治

歌占

(能) 大鼓 守家由訓
小鼓 吉阪一郎

笛 左鴻泰弘

茶壺

(狂言) ナッば小笠原 匡
田舎者 小笠原弘見
目代 山本豪一

休憩二十分

(十二時五十分頃)

熊野

朝顔 観世淳夫
熊野 観世鏡之丞
評次之伝 村雨留
墨次之伝

(能) 大鼓 河村 大
小鼓 曾和 鼓堂
平宗盛 福王茂十郎
從者 喜多雅人

休憩十五分

(仕舞)

嵐山 吉田篤史
半 蔀クセ 深野新次郎
隅田川 橋本磯道
邯鄲 アト 河村晴道

船橋

男女 河村和晃
男 橋本光史

(能) 山伏 小林 努
山伏 有松 遼一 大鼓 石井保彦
山伏 原 陸 小鼓 林 吉兵衛
黒人 小笠原 匡

附祝言

(終了予定 四時十五分頃)

後見・地謡

(後見) 青木道喜 河村浩太郎 田茂井廣道
大江又三郎 大江泰正 古橋正邦
梅田嘉宏 味方 玄
松野浩行 味方 團

(後見) 泉 慎也

(後見) 片山伸吾 樹下千慧 浦部幸裕
片山九郎右衛門 橋本忠樹 浦田保親
林宗一郎 浦田保浩
大江信行 吉浪壽晃

(地謡) 谷 弘之助
河村晴久
河村和重
田茂井廣道

(後見) 橋本擴三郎 浦田親良 浅井通昭
橋本雅夫 大江広祐 杉浦豊彦
宮本茂樹 井上裕久
地謡 深野貴彦 河村博重

解説

歌占 白山の麓の者が、幼い子を伴ない、歌占を引きにくる。歌占とは弓の弦に歌を書きつけて短冊を付け、その歌を引かせて吉凶を占うものである。歌占の男現は、もとは伊勢の神職であったが、ある時願死し、三日の後に蘇生した。それより白髪になったという。男現は二人に歌を引かせ、それを判じる。ところが、父の行方を尋ねているという幼子の歌占には、すでに父に逢っているとの占が出た。不思議に思い、名を尋ねると、それはわが子であった。親子再会を喜び、福国の名残に「地獄の曲舞」を舞ううち、男現は神に憑かれて狂気乱舞する。やがて神も上がり、父子はうち連れて伊勢へ帰って行った。

が宗盛は許さず、自分のエゴから、花見の供を命じ、牛車で清水寺に向かう。途中、都大路の春景色にも熊野の心は母を案じてなごみます。下車をするとき、母の快活に母の快活を祈る。やがて花の下での酒宴が始まり、熊野は心ならずも舞を舞わされるが、折しもにわかには雨降り出し、熊野は舞をやめて、「いかにせん都の春も惜しけれと願れし。東の花や散るらん」と、一首の歌を短冊にしたためて宗盛に差し出すと、宗盛はさすがに哀れを感じて帰国を許し、へと急ぎ出立するのだった。

に着くと、その里の男女が現れて、橋の建設の為の寄付を乞う。山伏が橋の由来を訊ねると、二人は「万葉集」の中の「上野(東路)の佐野の船橋」とはなし……。歌を引き、昔この所に住んでいた男が川を隔てて住む女と恋仲になり、この船橋を恋の通い路として毎夜通っていたが、これに反対した二親が橋板を外してしまふ。ところが二人はこれを知らずに踏み外してしまい、水中に落ちて死んでしまったことを語る。そして実は自分たちこそがその二人であることが、回向を頼んで消え失せる。

お客様へお願い

- ◆特別会員席以外の座席券は、当日午前10時から先着順にお引換えいたします。
- ◆開演中のお出入りはなるべくご遠慮ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

【表紙写真】

熊野 片山幽雪
金の星渡辺写真場撮影

次回予告

京都観世会五月例会
二〇一九年5月26日(日)
午前11時開演

(能) 賀 茂 梅田 嘉宏

(狂言) 文 荷 茂山 七五三

(能) 夕 顔 河村 和重

(能) 藤 戸 橋本 雅夫

山ノ端之出
法味之伝

蹴毬之伝

【お知らせ】

字幕サービスシステムを京都観世会六月例会より導入予定の為、四月二十八日の四月例会と五月二十六日の五月例会にて試験運用させていただきます。各例会共、先着二十名様に専用席にて端末をご利用頂き模擬体験頂きますので、ご希望の方は京都観世会館事務所までお申込願います。電話 〇七五-一七七一-六一一四